



一般社団法人

# 自転車駐車場工業会ニュース

安全安心社会の実現の為に、総合的先進システムを取り入れ、心のこもった自転車駐車場の普及活動を国際的視野で行い、自転車駐車場工業会の社会的地位の向上を目指します

事務局：〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町7-2  
TEL 03-3663-6284 FAX 03-3667-9637  
URL <http://www.jichuko.net/>  
E-mail [jic3533@jichuko.net](mailto:jic3533@jichuko.net)

## 2024年度 総会・懇親会 開催報告

5月14日に2024年度定時社員総会を開催し、第1～6号議案はすべて承認されました。また、総会後に開催した臨時理事会において、新体制が承認されました。三役は以下のとおりです。

理事長 内田 勉  
副理事長 相澤 英人  
副理事長 森井 清  
専務理事 関根 正美



ここからは、総会に引き続いて開催された懇親会における主催者、来賓の挨拶を抜粋、要約してお伝えします。

### ◆ 主催者挨拶 一般社団法人 自転車駐車場工業会 内田 勉 理事長

本日はここまで電車に乗ってきましたが、今、電車の中吊り広告を扱う事業者にとって「厳しい時代」とのことです。私が乗った車両では中吊り広告は3割ほどしか埋まっていませんでした。乗客は、寝ている人以外はほぼ全員、スマートフォンを見ております。二宮金次郎は歩きながら本を読んでいたと称賛されました

が、今、歩きながらスマホを見るのは危険でしょうかありません。

私はかねてより、交通事故を少しでも減らしたいとの思いで活動を続けております。「歩きスマホ」を止めさせる方法はないか、考えておりました。クルマの運転中はテレビ画面は消え、見ながらの運転はできません。同様なシステムをスマホでもすることで、ゲーム等ができなくなるのではないか。そんなふう

に思っています。これが実現すれば、歩行者の事故はかなり減らすことができるのではないのでしょうか。関係者には前向きに考えていただきたいと思います。「歩きスマホ」対策だけではありません。幼い子が命を落とすような痛ましい事故をなくしたい。少しでも交通社会を安全に変えたい。皆様もご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



### ◆ 来賓挨拶 国土交通省 菊池 雅彦 大臣官房技術審議官(都市局担当)

日頃より皆様には国土交行政、とりわけ自転車駐車場行政について格段のご理解ご協力を賜りまして、厚くお礼を申し上げます。

私は平成21年から平成23年まで、国土交通省都市局 街路交通施設課で駐車場担当の専門官として自転車駐車場の整備に携わってまいりました。日本の自転車

駐車場は放置自転車の問題から始まり、昭和56年のピーク時には100万台あった放置自転車が、現在は3万台と97%減少、劇的に改善しています。貴工業会の皆様方が、自転車駐車場に関する様々な取り組み、とりわけ関連機器の開発、設置基準の制定、安全



問題の取り組みなどを通じ、自転車駐車場の整備にご尽力いただいた結果かと思っています。

平成21年頃はちょうど変化の時で、これまでの放置自転車対策から、よりいろいろなニーズに合わせた駐車場に変えていく必要があるということで、商店街向け、企業の通勤者向けなどに対応し自転車駐車場の整備をしていくべきとガイドラインを改定しました。そのガイドラインに基づき、新たな自転車駐車場の整備が行われてきました。現在も、電動アシスト付き自転

車、チャイルドシート付き自転車、特定小型原動機付自転車など、自転車の多様化が進んでいます。また、通勤、買い物需要など、駐車場のニーズもまた多様化が進んでいます。このような変化に対応するには、より質の高い自転車駐車場の整備が求められます。現在、今年度中の自転車駐車場の整備のあり方に関するガイドラインの改定を目指し、作業を進めています。

引き続き自転車駐車場の整備に関し、皆様方のご理解ご協力をお願い申し上げます。



◆ 来賓挨拶 公益財団法人 自転車駐車場整備センター 榊島 徹 理事長

貴工業会が情報発信、技術向上等で着実な成果をあげていること、そして市民の足である自転車交通の基礎を日夜支えられていることに、敬意と感謝を申し上げます。また、当センターの業務に対しご理解、ご協力を賜っていることに、改めて感謝申し上げます。

このところ、コロナ禍の収束により自転車駐車場利用が回復しているという明るさと同時に、将来の需要減という厳しさも感じています。この対応のためには様々な連携が欠かせません。当センターの事業計画においても、管理会社の皆様との連携はもとより、機器開発・製造メーカーの皆様との連携・協働の強化も進め、定期利用手続きのためのシステム「CYPS」の導入、静粛性に優れたモーターロックと収容性に優れたシングルラックの組み合わせ等を実現させていただいています。こういった面で、様々なステークホルダーの皆様との連携がたちになりつつあると思っています。貴工業会

の皆様にも、引き続きよろしくお願ひしたいと思います。

1年ほど前ですが、定期利用手続きをしていただいたお客様にアンケートを行ったところ、8割程度の方から「満足、やや満足」という回答をいただきました。これは管理や機器提供等でご協力いただいている貴工業会の皆様のおかげです。そしてアンケートを詳しく見ると、自由記入欄では「満足」と回答した方でもネガティブな意見がありました。満足であっても意見がないわけではなく、意見があるから不満足というわけでもないという奥深さがあり、現状にとどまることなく、さらなる改善を期待されていることが明らかになりました。

自転車事故対策としては、努力義務化されたヘルメット着用に寄与すべく、自転車に後付け可能なヘルメットロックの試供にも取り組みました。現状、大きな反響を得るまでには至っていませんが、今後もヘルメット着用促進に取り組んでまいりたいと思います。今後ともご協力をいただきたく、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



◆ 乾杯挨拶 一般社団法人 自転車駐車場工業会 森井 清 副理事長

多種多様化が進む今の時代に應えるべく、関係各所の皆様と協力しながら、より良い自転車駐車場の実現に取り組んでまいります。



◆ 中締め 一般社団法人 自転車駐車場工業会 相澤 英人 副理事長

昨年10月にサイクルラック技術基準を策定しました。この新基準を広めていくためには皆様のご協力なしでは実現できません。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



DATA

開催日：2024年5月14日  
会場：KKRホテル東京（東京都千代田区）